

■ 団体ロッカー・メールボックスをご活用ください！

市民活動団体の活動に使用する資料等を保管するため、「団体ロッカー」を利用することができます（有料）。
また、団体宛での郵便物を受領する（私書箱機能）ために、「メールボックス」を利用することができます（有料）。

○団体ロッカー・メールボックスの利用（可能）数・期間

貸出数：1 団体につき、団体ロッカー1ヶ所／メールボックス 5 個まで（原則）

期間：利用を開始する日の当該年度の末日まで（最長⇒4月1日から翌年3月31日まで＝1年間）

○団体ロッカー・メールボックスの区分・使用料・数量

区分	サイズ	使用料（1ヶ所）		総数
		1月分	1年分	
団体ロッカー（大）	幅 45cm×高さ 100cm×奥行 41cm	620 円	7,440 円	70 個
団体ロッカー（小）	幅 45cm×高さ 50cm×奥行 41cm	310 円	3,720 円	140 個
メールボックス	A4 普通紙（約 2000 枚収容可能）	100 円	1,200 円	312 個

○団体ロッカー・メールボックスの利用申請期間

利用しようとする日（＝利用〔開始〕日）の属する月の1月前の1日から利用するまでの期間

（例）利用申請期間の開始

10月1日から3月31日までのいずれかの日から利用しようとする場合⇒9月1日から申請可能です。

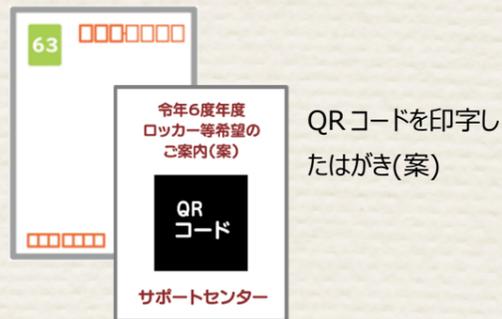
1月の申請開始は1月1日～3日が休館日にあたるため1月4日となります。

なお、団体ロッカー及びメールボックスの利用を希望する登録団体が多いことから、毎年2月頃に、4月以降（翌年度分）の団体ロッカー及びメールボックスの事前調整を行っています（ホームページ「さポット」や館内掲示にてお知らせします）。

■ 令和6年度利用分からの大切なお知らせ

令和6年度利用分の手続きより下記のとおり変更いたします。

- ①封書からはがきでの案内へ変更となります（書類の送付はなし）。
- ②はがきの発送後、ホームページ「さポット」でお知らせいたします。
- ③ホームページ「さポット」から利用希望書をダウンロードしてください。



所在地

〒330-0055 埼玉県さいたま市浦和区東高砂町11番1号 コムナーレ9階

電車の場合

JR「浦和」駅下車、東口より徒歩1分

バスの場合

「浦和駅東口」バス停下車、徒歩1分

「浦和駅西口」バス停下車の場合は、浦和駅東西連絡通路をご利用ください

自動車・バイクをご利用の場合

市民活動サポートセンター専用の駐車場はございません。近隣の有料駐車場又は公共交通機関をご利用ください。なお、当センターがあるビルの地下に、さいたま市営「浦和駅東口駐車場」がございます（有料）。

自転車をご利用の場合

市民活動サポートセンター専用の駐輪場はありません。近隣の有料駐輪場又は公共交通機関をご利用ください。なお、最寄りの駐輪場は、当センターがあるビルの地下2階でございます（有料）。



お問合せ さいたま市市民活動サポートセンター（受付時間 9時～21時30分）TEL:048-813-6400 FAX:048-887-0161

Saitama City Citizen Activity Support Center

News Letter

さいたま市市民活動サポートセンター ニュースレター



ひろげよう市民活動の輪！ つなげようみんなのハート♡ 来て！見て！触れて！楽しむ！
教育・福祉・スポーツ・文化・環境・IT など様々なジャンルがそろった2日間のフェスティバル！

日時： 令和5年3月4日（土）・5日（日） 各日 10:00～16:00

会場： さいたま市市民活動サポートセンター 全館

・さまざまな団体のブース

展示・発表・体験・相談・販売など盛りだくさん！
農産加工品・お菓子・オリジナル雑貨などの販売！
eスポーツ・体操・おもしろ理科実験などの体験！

・楽しいステージ発表

出演団体の想いがあふれるパフォーマンス！
演奏・腹話術・マジック・活動内容などの発表

※YouTubeチャンネルで
ステージ発表の様子を配信！



・みんなのこころのアートフラッグ

さいたま市内の小中学生が制作した約1,000枚のアートフラッグをセンター内に飾ります！
※制作協力校（馬宮東小・日進小・大宮北小・見沼小・下落合小・神田小・高砂小・仲本小・大谷場小・美園小・岩槻小・七里中・大谷場中・原山中・美園中）

・サポセンのお宝をもらおう

フェスティバルに関係するいろいろな場所に謎が隠されているよ！全部解くとちょっとうれしいお宝をプレゼント！（謎解き制作協力：浦和大学）

同時開催

- ・浦和コミュニティセンターまつり(10階)
- ・自主製品見本市(9階)
- ・さいたま市市民活動夢マルシェ(市民広場)

NPO 法人や市民活動団体のための相談会

■ 法律相談

弁護士が市民活動に関する無料相談を行います。

日時 2月～4月の木曜日

※2月23日はお休み

▼15:00～▼16:00～▼17:00～▼18:00～

■ 対象

市民活動団体

■ 定員

各時間 1 団体

■ 会場・申込

サポートセンターにて
当日受付（先着順）



■ 会計相談

公認会計士などによる市民活動団体の会計についての無料相談を行います。

日時 ①2月17日(金) ②3月17日(金) ③4月21日(金)

▼13:00～▼14:15～▼15:30～

対象 市民活動団体 ・定員 各時間 1 団体

会場 市民活動サポートセンター ラウンジ

申込開始 ①2月3日(金)～10日(金)

②3月3日(金)～10日(金)

③4月7日(金)～14日(金)

■ 申込方法

来館・電話・FAXにて、サポートセンターにご連絡ください。

助成金情報

音楽文化創造/「国際音楽の日」記念事業に関する助成]2023年度

概要・趣旨

「音楽文化の振興のための学習環境の整備などに関する法律」(略称「音楽振興法」) 第9条に定められた「国際音楽の日」を広く普及することを目的としたコンサートやイベントなどの事業に対する助成を通じ、一層の広がりを促進し、我が国の音楽文化水準の向上を図ることを目的とする。

助成内容 1件に対し上限は10万円

応募締切 2023年2月28日(火)必着

【問合せ】 公益財団法人 音楽文化創造 2023年度「国際音楽の日」記念助成係

Tel : 03-5794-8662 ※平日 10:00～12:00、13:00～17:00

FAX : 03-5794-8663

E-mail: info@onbunso.or.jp

WEB : https://www.onbunso.or.jp/

※詳細・最新の情報は、問合せ先の応募要項を必ずご確認ください。



ノビアグリーン財団/「助成事業(団体)」-2022年度

目的・対象

児童、青少年の健全な育成や、スポーツの発展、普及に寄与するものです。児童、青少年の健全育成の向上を目的とした体験活動、およびスポーツの振興に関する事業を積極的に行い、または奨励している主催者ホームページで示した分野に当てはまる団体。0歳から高校生相当年齢までの子供たちを対象とした活動が助成対象となります。

助成内容 1件あたり上限300万円

応募締切 2023年2月28日(火) 正午12:00 電子申請のみ

【問合せ】 公益財団法人ノビアグリーン財団

Tel : 03-5568-0305 ※9:00～17:30(土日祝日・年末年始除く)

E-mail: info@noevirgreen.or.jp

WEB: https://www.noevirgreen.or.jp/

※詳細・最新の情報は、問合せ先の応募要項を必ずご確認ください。



印刷オウエンジャー参上!

1月より特定の任務日にサポセンボランティア印刷オウエンジャーが参上します。

オウエンジャーに作成したいイメージを伝えると、印刷の作業に関するお悩みを一緒に解決します。

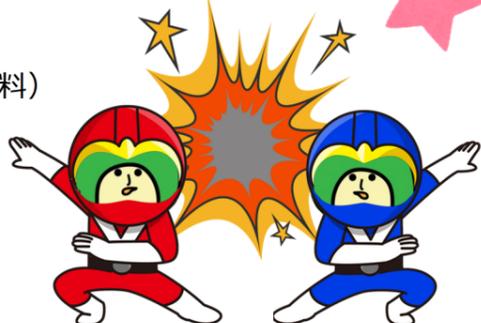
まだまだ修行の身ですので色々声をかけていただくと励みになります!

オウエンジャーの任務…印刷作業補助・デザインのPC操作補助等(無料)

※機器利用料や用紙持ち込みなどは、通常のとおりです。

・**任務予定日** 館内掲示ポスターで当月分をご確認ください

・**出勤時間** 14:00～16:00(予定)



さいたま市で活動する市民活動団体に Interview (vol.8) SDGsさいたま応援団

▶SDGsとは何か知っていますか?

SDGs (Sustainable Development Goals、持続可能な開発目標) は、2015年9月の国連総会で、193の国連加盟国の総意により採択されました。簡潔に言うと、「2030年までに、途上国も先進国も含めた全ての国連加盟国を、持続可能な社会の実現に向けて引っ張っていく世界目標」です。

▶SDGsを達成するために必要なこと

SDGsには全部で17の目標と169ものターゲットがあります。これを達成するために取り組むのは国であり企業やNPO・NGOであり、わたしたちです。『SDGsへの関心をもっと多くの方に持ってもらうよう活動されており、SDGsの良いところは、今や世界をつなぐ合言葉となったこと話す【代表の森さん】にお話をうかがいました。』

SDGsさいたま応援団とは

未来の子供たちが生きる社会や地球環境のために「SDGsを自分ごと」として、小さな活動を続けている10数名のボランティアグループです。プラスチックごみ問題をメインテーマにとり上げ、「プラスチックの海洋汚染」写真展を区役所ロビー等で、これまで5回開催してきました。

身近な場所に散乱するプラごみが川を通して海に流れ込み、海洋生物を苦しめるシーンを写真で訴えかけることにより、海なし県に住むさいたま市民も自分ごとと改めて認識していただいております。

また昨年11月には「空中に漂うマイクロプラスチック」をテーマに、専門研究者(早大理工学部・大河内教授)をお招きし、市民向けのセミナーも開催しました。

もちろん道路、河川敷などでの「ごみ拾い」や、プラごみ減量のための行動は、会員個々が率先して行っており、併せて見学会や勉強会も重ねてきました

「SDGs」の活動を始めてみようと思ったきっかけは

2018年、70歳で完全にリタイアした頃、スーパーボランティアの尾島春夫さんの活躍に触発され、自分のできるボランティア活動としてごみ拾いに加えて、当時まだあまり知られていないSDGsの普及のお手伝いならできかなと思ったのがはじまりです。

このコロナ禍での活動で困ったこと、新しく活動を変えたことは

2021年3月、すぐろくを使ったSDGs啓発イベントを直前に中止することになり、せっかくの準備がムダになった苦い経験がありますが、そこでコロナ禍でも可能な活動として考えついたのが、公共の場所での写真展でした。写真展なら3密を避けて開催できると思ったからです。そして議論を重ねていく中で、具体的なテーマとしてプラごみの環境汚染問題に絞り込みました。なぜなら河川敷のごみ拾いを行っている中で、プラごみの比率が想像以上に高かったからということと、知れば知るほどプラスチック汚染が深刻な問題と分かったからです。

【お問合せ】SDGsさいたま応援団 代表：森

電話：070-6517-7261 メールアドレス：sdgs.saitama@gmail.com

【活動場所】月1回の定例ミーティング(大宮東公民館、北区市民の森会議室など)【年会費】2,000円

活動をしていて印象に残っていること

北区役所のご協力で初めて写真展を開催させていただいた時、小さなお子さんが写真パネルを見て、「カメラさんが(ポリ袋をのどに詰まらせ)死んじゃってかわいそう!」とつぶやいたのを聞いたときですね。

海亀の未来も、この子供たちの未来も壊してはいけないと思いました。

今後の活動で今、目指している目標などを教えてください。

今やプラスチックは私たちの暮らしに欠かせない素材です。しかし必要以上にプラスチックを使い捨てています。お菓子の過剰包装や、柔軟剤の香りを長持ちさせるために目に見えないほどの微細なプラスチックカプセルを使うことなど明らかに行き過ぎています。その結果、海の中だけでなく大気中にも土壌の中にもプラスチックが増え続けています。

環境への負荷を減らすためには、できるだけプラスチック依存を少なくし、またプラごみを流失させないことが必要です。そのために市民一人ひとりの意識を変える活動ができればと思っています。

特に今年は若い世代にアプローチをしたいですね。

最後に、これからSDGsに取り組む市民の皆さんに、メッセージをお願いします。

個人に出来ることは、極めて小さなことかも知れませんが、しかし小さなことの積み重ねがなければSDGsという大きな目標は達成できません。世間にはSDGsをきれいごとだと片づける風潮もありますが、「無関心」や「他人ごと」からは何も生まれてきません。

この大切な地球環境を守るため、「気がついた時には手遅れ」とならないために、私たち市民には日々の生活の中で、小さな「気づき」と「問題解決のための実行」が大切だと考えています。

一緒に小さな行動を始めませんか。



見沼区役所1階ロビー【写真】



レイボックホール4階【SDGs国際協力フェア in Saitama】

